

令和8年度 第1回呉市地域公共交通協議会

- 議 事 要 旨 -

日 時：令和8年6月11日（木）13時00分～15時15分

場 所：呉市役所本庁7階 757・758会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 委員紹介

4 議 事

議案第1号 令和7年度事業報告及び歳入歳出決算について・・・・・・・・・・・・・・・・

【資料1-1～1-3】

議案第2号 令和8年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について・・・・・・・・

【資料2-1～2-3】

議案第3号 地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域内フィーダー系統補助）への申請について（下蒲刈地区公共ライドシェア）・・・・・・・・【資料3-1～3-3】

5 報 告

報告第1号 地域主導による移動手段の取組状況について（仁方地区）・・・・・・・・【資料4】

報告第2号 吉浦地区乗合タクシーの運用改善について・・・・・・・・・・・・・・・・【資料5】

報告第3号 令和8年度交通関連事業費（予算）について・・・・・・・・・・・・・・・・【資料6】

報告第4号 エアポートバス「呉広島空港線」の利用状況について・・・・・・・・・・【資料7】

報告第5号 令和8年度第1回交通戦略会議について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料8】

報告第6号 令和8年度夏休み期間中の公共交通利用促進策について（広島県）・・【資料9】



(1) はじめに

発言者	発言要旨
阿原会長	公共交通を取り巻く環境は、全国的な担い手不足や利用者の減少に加え、物価高騰の影響もあり、極めて厳しい状況である。 本市の交通政策にかかる負担額は近年 10 億円を超えており、一般会計に占める予算の割合は、全国の中核市の中でも最高水準となっている。 人口減少と高齢化が加速する将来を見据え、現状を単に維持するだけでなく、次世代に持続可能な公共交通ネットワークを引き継ぐための抜本的な議論が必要となっている。 本日は、昨年度の事業報告や今年度の事業計画案など、重要な議題を予定しており、特に、下蒲刈地区の公共ライドシェアについては、2月から市が費用の一部を支援して試験運行を行っているが、この取組に対する国の補助制度の申請について、本日も審議をいただきたいと考えている。

(2) 議案第 1 号 令和 7 年度事業報告及び歳入歳出決算について

発言者	発言要旨
■資料 1－1～1－3 について、交通政策課松田課長補佐より説明	
阿原会長	特にご質疑がないため、お諮りさせていただく。本件については、承認することでご異議はないか。 異議がないため、本件については、承認させていただいた。

(3) 議案第 2 号 令和 8 年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について

発言者	発言要旨
■資料 2－1～2－3 について、交通政策課松田課長補佐より説明	
阿原会長	本件について、ご質疑等があればお願いします。
加藤委員	本日は、黒瀬の兼広にある新しい交通拠点を確認してきたが、あの拠点は非常に学ぶべき点が多く、委員の皆様も一度バスで行かれることをお勧めする。 広島電鉄が行う予定の焼山・熊野エリアの再編について、詳細を教えてください。 また、見晴町線については、現在バス車両で運行されているが、ワゴン車等へダウンサイズすれば、収支率基準 15%を超えるのではないかと考えるが、検討状況を伺いたい。 資料 2－2 の事業スケジュールについて、新規事業と既存事業の区別を明確にし、重点項目をハイライトするなど、委員が情報の重要度を即座に判断できるよう表記を改善すべきである。
事務局 (中本)	広島電鉄の再編案については、現在、焼山・熊野エリアで 5 つの系統があるが、3 系統に集約する案で協議中と伺っている。 この度の再編案は、焼山・熊野エリアから広島市中心部・矢野方面への路線等

	を含めたエリア全体の効率化を目指すものであり、呉市に關係のある呉駅から熊野営業所までの路線についてのダイヤには、大きな変動はないと伺っている。 一方、呉市から熊野営業所を経由し矢野方面へ向かう直行便を新設するなど、利便性向上が図られると伺っている。 詳細については、次回の協議会でお示しする。 見晴町線については、コロナ禍以降の利用減に加え、路線の主な利用目的であるみはらし荘が、令和8年度に閉鎖する予定であり、施設閉鎖に伴う利用者減も見込まれる。 今後、車両の小型化や乗合タクシーの再開も含め、地域住民と最適な移動サービスを協議していく予定である。 資料2-2の事業スケジュールについては、次回の協議会までに修正する。
羽藤委員	公共交通の本質的課題は、人口減少と自家用車依存による需要の縮小により、利用者の負担が増加していることである。 しかしながら、収支率が著しく低い路線を単純に廃止等で判断するのではなく、生活バス・公共ライドシェア・福祉有償運送などの多様なモビリティを組み合わせた地域運営型モビリティへ移行することが重要である。 ただし、地域運営型モビリティが定着するのは時間がかかるため、利用者数や収支率だけで評価するのではなく、高齢者の外出機会の確保や地域見守り効果など、多面的な波及効果を評価していくことが重要である。 また、拠点間を結ぶ「幹線」と、地区内の「末端交通」を切り分けて設計し、地区内は地域運営型ライドシェア等が担う二層構造の構築こそが、人口減少下でも交通空白を解消し、地域生活を維持するための持続可能な公共交通体系には不可欠である。
島田委員	公共交通空白地帯である郷原地区において、地元協議を開始する時期は、いつを予定しているのか。
事務局 (中本)	現在は、収支率の低い6区（下蒲刈、仁方、川尻、昭和、安浦、警固屋）を重点的に対応することとしているが、郷原地区についても、希望されるのであれば、新たな移動サービスに向けて、地元関係者と協議を行っていきたい。
阿原会長	他にご質疑がないようであるため、お諮りさせていただく。本件を承認するというご異議はないか。 異議がないため、本件については、承認させていただいた。

(4) 議案第3号 地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域内フィーダー系統補助）への申請について（下蒲刈地区公共ライドシェア）

発言者	発言要旨
■資料3-1～3-3について、交通政策課小林主査より説明	
阿原会長	本件について、ご質疑等があればお願いします。
藤本委員	住民ドライバーのモチベーション維持が、事業の持続性に必要であると考えており、その方法については検討しているのか。

	また、単なる移動者数だけでなく、導入による住民満足度の向上などを可視化するためのアンケート調査を実施して、結果を住民ドライバーに伝えるといったやり方もモチベーション維持につながるのではないかな。
事務局 (小林)	住民ドライバーの負担軽減のため、システムによる事務簡略化や報酬体系の見直しを検討している。 住民満足度アンケートについては5月に実施している。今後は、アンケート結果を基に、夏にワークショップを行い、住民の意見を本格運行に反映させたいと考えている。
神田委員	オンデマンド型（S2）は、利用が増えるほど人件費等のコストも増えるため、収支率が改善しにくい。収支率という指標だけでは、社会的価値を測りきれない側面がある点に留意すべきである。
加藤委員	オンデマンド型（S2）の目標値である「480人/年」は、365日で割れば1日わずか1.3人である。この程度の利用数に対して、数百万円という高額なシステム経費を投資することは不整合である。システムではなく、地域のオペレーターが対応すればよい。また、システム経費が収支率を低下させていることで評価が低くなっている。システム経費を除外した実質的な運行収支で評価するべきである。 また、下蒲刈ライドシェアの構築にあたっては、定時定路線型（S1）とオンデマンド型（S2）の役割分担を明確に定義すべきである。
事務局 (中本)	定時定路線型（S1）とオンデマンド型（S2）の役割分担については、現在の取組の利用実態を分析して、今後、統合等について検討していく。
阿原会長	他にご質疑がないようであるため、お諮りさせていただく。本件を承認することでご異議はないか。 異議がないため、本件については、承認させていただいた。

(5) 報告第1号 地域主導による移動手段の取組状況について（仁方地区）

発言者	発言要旨
■資料4について、交通政策課小林主査より説明	
阿原会長	報告のあった件について、ご意見等あればお願いします。 特にご意見がないようであるため、次に進めさせていただく。

(6) 報告第2号 吉浦地区乗合タクシーの運用改善について

発言者	発言要旨
■資料5について、交通政策課小林主査より説明	
阿原会長	報告のあった件について、ご意見等あればお願いします。
加藤委員	この件は報告案件となっているが、天応地区への経路延伸があるため、議事事項ではないのか。
事務局 (小林)	報告の主題は運賃改定とダイヤ改正である。 天応地区への経路延伸は、現在、協議を進めている最中であり、次回の協議会

	で議事として諮る予定である。
阿原会長	特にご意見がないようであるため、次に進めさせていただく。

(7) 報告第3号 令和8年度交通関連事業費（予算）について

発言者	発言要旨
■資料6について、交通政策課小林主査より説明	
阿原会長	報告のあった件について、ご意見等あればお願いする。 特にご意見がないようであるため、次に進めさせていただく。

(8) 報告第4号 エアポートバス「呉広島空港線」の利用状況について

発言者	発言要旨
■資料7について、交通政策課松田課長補佐より説明	
阿原会長	報告のあった件について、ご意見等あればお願いする。
桧垣委員	4月23日に大和ミュージアムがリニューアルオープンした。 リニューアルオープン後の入館者数は、リニューアル前の約1.5倍に急増している。 観光客のエアポートバス利用が期待できるため、今後も観光部局と連携し、さらなる利用促進を図る。
阿原会長	他にご意見がないようであるため、次に進めさせていただく。

(9) 報告第5号 令和8年度第1回交通戦略会議について

発言者	発言要旨
■資料8について、交通政策課小林主査より説明	
阿原会長	報告のあった件について、ご意見等あればお願いする。 特にご意見がないようであるため、次に進めさせていただく。

(10) 令和8年度夏休み期間中の公共交通利用促進策について（広島県）

発言者	発言要旨
■資料9について、広島県公共交通政策課中和主任より説明	
阿原会長	報告のあった件について、ご意見等あればお願いする。
鎌田委員	自分と同様に、バスの乗り方を知らない親も多いと思うが、乗り方周知は行うのか。
水本委員 代理者	バスの乗り方については、パンフレットに漫画形式での解説を載せるほか、目的地までのルートをスマートフォンで検索する方法を紙面で紹介する予定である。
小林委員	親世代への周知が重要であり、学校経由の配布に加え、自治会回覧の活用も検討すべきである。
永田委員	整理券の意味が分からない子供も多い。

	広島電鉄がされているようなYouTube等での動画解説や、対象車両であることの識別ステッカー等があると分かりやすいのではないかな。
佐伯委員	自治会回覧は、自治会の負担が増えるため、学校で周知することが一番効率的であると考えてる。
水本委員 代理者	周知方法については、夏休み開始までに検討する。
川本委員	子供だけでなく、同行する親の運賃割引はできないかな。
水本委員 代理者	今夏の取組では、運賃割引は子供のみである。
加藤委員	他県の先進事例と同様に、気軽に遊びに行く感覚で乗れるようハードルを下げるべきである。
阿原会長	他にご意見がないようであるため、以上をもって、令和8年度第1回呉市地域公共交通協議会を閉会とする。 委員の皆様にはご多用中にもかかわらず、ご出席を賜り感謝する。